

令和8年度中小企業向けWEB省エネセミナー

「省エネ支援サービス」の上手な活用方法



一般財団法人**省エネルギーセンター**



中小企業の代表的な省エネニーズ

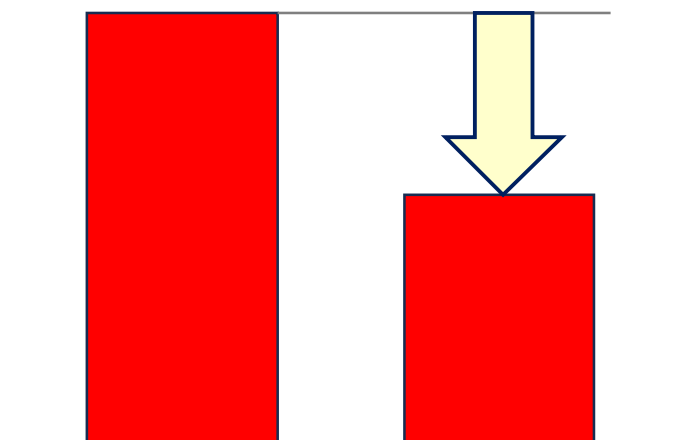
- 中小企業の省エネ・脱炭素化に関する悩みは様々ですが、共通する一番大きなニーズは、「**エネルギーコストを削減したい**」かと思います。
- 本セミナーでは、中小企業のニーズ別に効果的な省エネ支援サービスの活用方法についてご案内します。



省エネと脱炭素化

- よく混同されますが「省エネ」と「脱炭素化」、実は中身は異なります。
- 「**省エネ**」はエネルギー使用量が削減されるので、「**=コスト削減**」、「**=CO2削減**」
- 「脱炭素化」は、コスト削減につながる内容もありますが、必ずしも「コスト削減」ではありません。

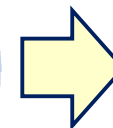
省エネ = コスト削減
= CO2削減



エネルギー使用量の削減

脱炭素化を目指す場合でも

ファーストステップは
省エネ

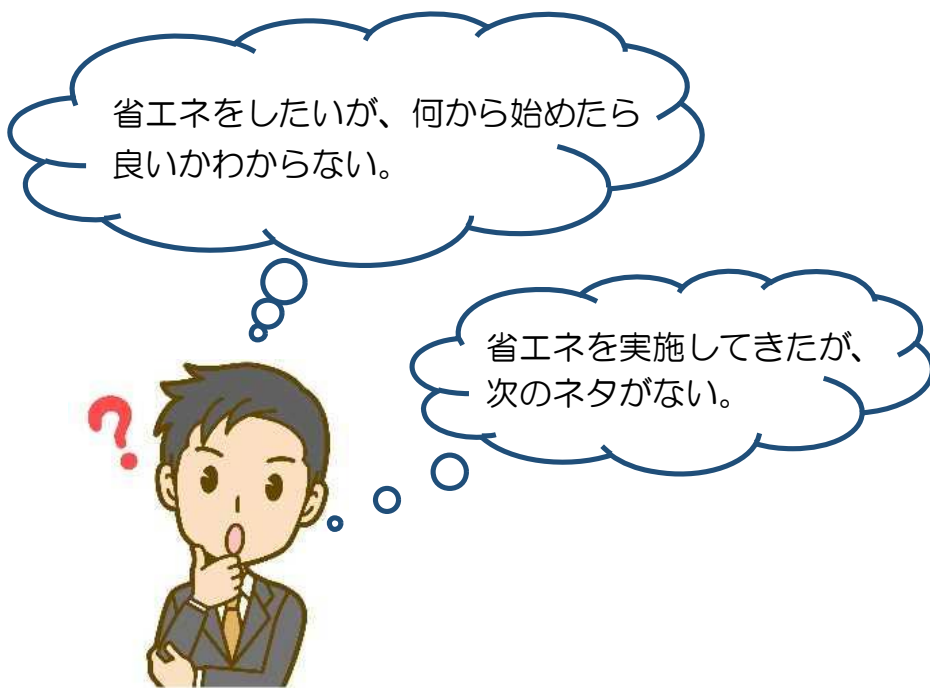


次に
脱炭素化

使用エネルギー量を削減してから、脱炭素化するのが効率的

まずは「省エネのプロ」の活用

- これまで省エネに全く着手してこなかった中小企業にとって、共通の課題は、「何から始めたら良いかわからない」という点でしょう。
- このような場合は、まずは「**省エネのプロ**」のアドバイスを受けるのが効率的です。専門家が、ビルや工場、その事業所のムダを見つけて、省エネの進め方についてアドバイスをします。



省エネのプロを活用するメリット

その1

- ・専門家が客観的にエネルギーのムダをチェック

その2

- ・省エネに関する多くの知見があり、具体的な改善策を提案

その3

- ・改善項目ごとに、**コスト削減額**、**省エネ量**、**CO2削減量**を算出

省エネのプロの活用方法「省エネ診断」

- 省エネのプロのアドバイスを経済的に活用する手段として、一般財団法人省エネルギーセンターでは、経済産業省の補助事業として「**省エネ最適化診断**」をご提供しています。
- 補助事業であるため、**約9割が補助され、1割のご負担**で省エネ診断を受診できます。
様々なメニューがありますが、9,460円～30,470円（税込）のご負担で専門家のアドバイスが受けられます。

改善提案ごとに省エネ効果
（コスト削減額、CO2削減量等）を
算出してもらえるのだ。



省エネ設備補助金とも
連携しています。

省エネ最適化診断の特徴

その1

・費用のかからない改善案(運用改善を)を優先提案

その2

・再エネ(再生可能エネルギー)の提案もするので脱炭素化にも有効

その3

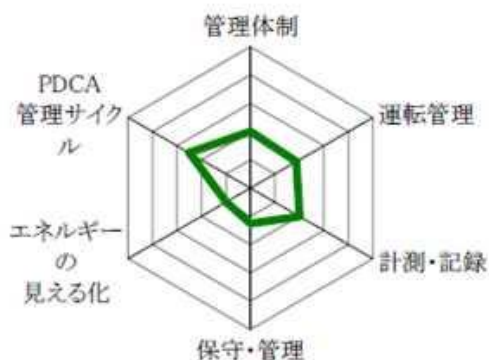
・改善提案の内容は、説明会の場で、実施方法も含めて丁寧に説明

「省エネ最適化診断」のアドバイス内容

- 費用のかからない「運用改善」と省エネ効果の大きい「投資改善」について、改善提案を行い、「コスト削減額」「省エネ量」「CO2削減量」を算出し、実施した場合の効果を具体化します。
- また、現状のエネルギー使用量について、同業他社と比較を行い、現状を見える化します。

報告書のレポート（例）

エネルギー管理状況



<エネルギー管理状態の評価>

同業種におけるエネルギー使用状況

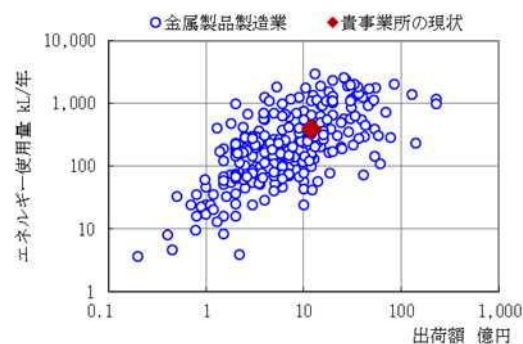


図4：エネルギー使用量、出荷額の分布

<同業他社とのエネルギー使用量比較>

具体的な省エネ・再エネ提案

No	改善提案	原油換算		削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
		削減量 [kL]	削減率 [%]			
1	ボイラのバーナ空気比低減による重油使用量の削減	13.5	2.5	944	—	—
2	ボイラ蒸気圧力低減によるA重油使用量の削減	12.3	2.3	—	—	—
3	空調機運転台数見直しによる電力量削減	1.2	0.2	91	—	—
4	エアコンプレッサの一部更新	25.7	4.8	1,930	3,000	1.6
5	温水タンク熱源を休日の乾燥用熱源に活用	10.8	2.0	750	300	0.4
6	ポンプのインバータによる回転数制御	4.6	0.9	343	600	1.7
7	蒸気配管、バルブの未保温部に保温材を施工	3.5	0.7	—	—	—
8	第2乾燥室の保温強化	1.4	0.3	95	300	3.2
9	工場2階の天井水銀灯の蛍光灯(H型)化	0.9	0.2	65	200	3.1
10	ダイヤモンド監視装置導入による契約電力低減	—	—	427	400	0.9
合 計		73.9	13.8	5,746	5,000	—

省エネニーズに対応した多様な診断メニューの提供

➤ 「省エネ最適化診断」では、中小企業のニーズ別に多様なメニューをご提供しています。

中小企業等の代表的なニーズ

- ・簡単に申込がしたい
- ・短期間で省エネ診断がしたい

- ・省エネ効果について定量的に把握したい
- ・省エネのプロのアドバイスがほしい
- ・脱炭素化の進め方が知りたい

- ・無料で使えるデータ活用方法が知りたい

- ・省エネを更に深掘りしたい
- ・生産設備と連携した省エネがしたい

省エネ最適化診断

クイック診断

- ・総合診断の特徴はそのままに、診断期間を大幅に短縮した診断

新設

ベーシック (A診断、B診断、 大規模診断)

- ・省エネに加え脱炭素化も提案
- ・運用改善を優先的に提案することで、費用のかからない省エネを提案

データプラス診断

- ・スマートメーターのデータを活用し、エネルギー利用のムダが見える化

新設

ステップアップ 診断

- ・省エネ最適化診断受診後に、更に深掘りした省エネニーズがある場合に対応(無料計測も可能)

省エネ最適化診断の受診条件

- 受診可能な事業者、事業所は以下の**いずれか**の条件に該当する場合となり、多くの事業者が受診できる条件となっています。

- **中小企業者（中小企業基本法に定める中小企業者）**

事業所の年間エネルギー使用量（原油換算値）が1,500kL以上の場合、以下を除く

- ①資本金又は出資金が5億円以上の法人に直接又は間接に100%の株式を保有される中小・小規模事業者（但し、資本金又は出資金が5億円以上の法人が中小企業の場合は適用しない）
- ②直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超える中小・小規模事業者

- **会社法上の会社に該当せず、年間エネルギー使用量(原油換算値)が、原則として100kL以上1,500kL未満の工場・ビル等**

（但し、100kL未満でも、低圧電力、高圧電力もしくは特別高圧電力で受電している場合は可）

（注1）年間エネルギー使用量（原油換算値）は、令和5年4月施行の改正省エネ法に基づき算定します（非化石エネルギーを含みます）

（注2）データプラス診断では、スマートメーターのデータが必要なことから、電力契約等で一定の条件があります。

- **1事業者あたりの申込件数は、最大5件までとなります。**

「省エネ最適化診断」の申込方法

- まずは、現状のエネルギー使用量がわかる帳票（電気、ガスの検針票、燃料の伝票など）を準備します。
- あとは申込は簡単です。申込書をダウンロードして、必要事項を記入して、省エネ診断事務局に送付するだけです。
- ご不明な点は、省エネ診断事務局(ene@eccj.or.jp,03-5439-9732)にお気軽にお問合せください。

ステップ1

- ・省エネ・節電ポータルサイトにアクセス
<https://www.shindan-net.jp/service/shindan>

ステップ2

- ・診断メニューを選択し、該当する申込書をダウンロード（工場用とビル用があります）

ステップ3

- ・必要事項を記入して、省エネ診断事務局に送付

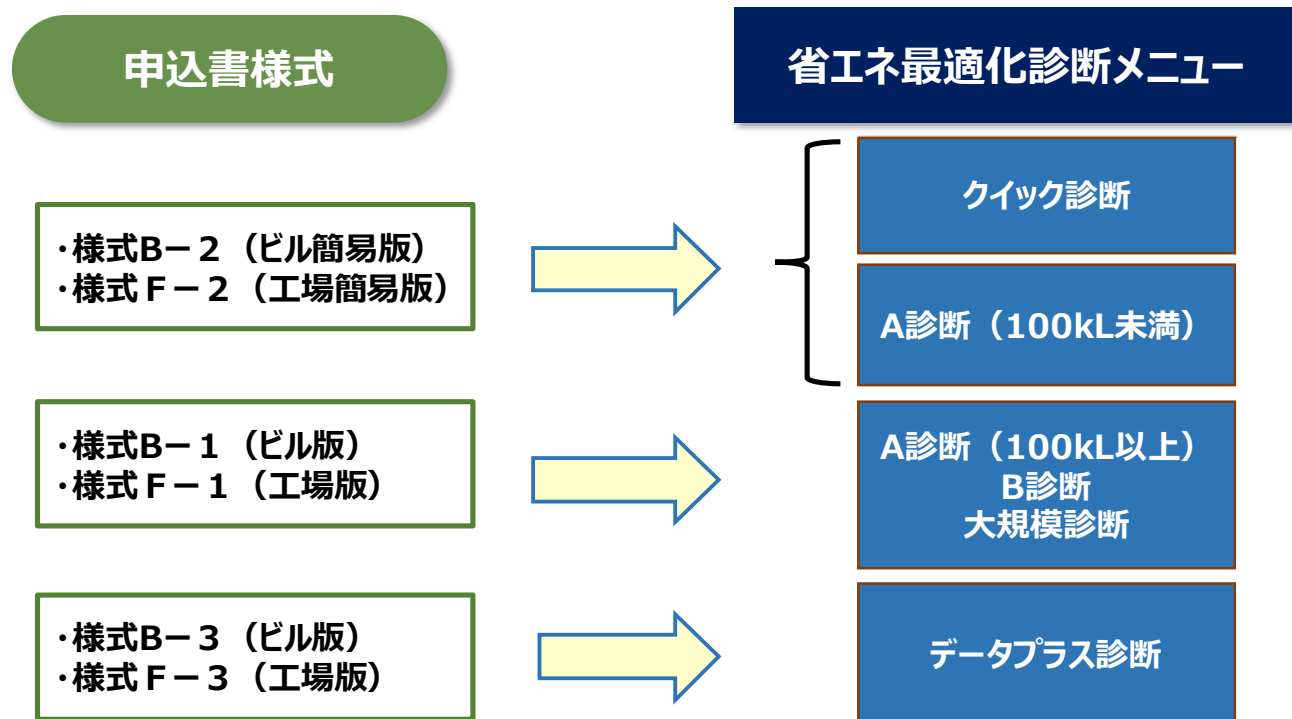
省エネの第一歩は現状把握
使用しているエネルギーコストを
確認しましょう。

毎月の電気の検針票、
燃料の使用量をチェック



「診断メニュー」と「申込書」

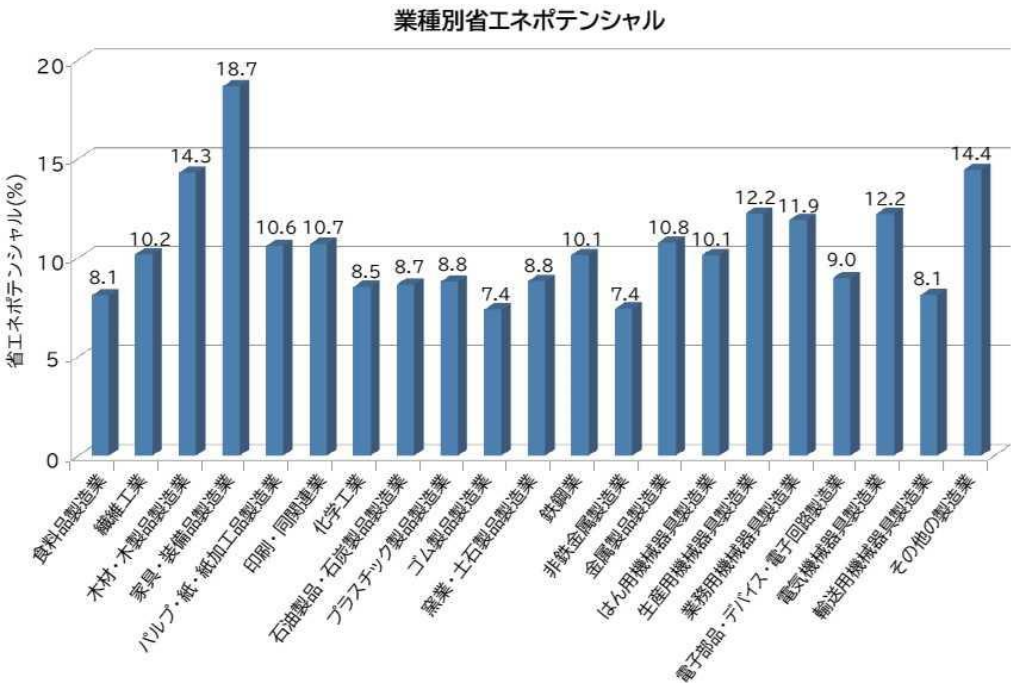
- ご希望する診断メニューごとに、申込書をご用意しています。
- 該当する申込書をダウンロードして必要事項をご記入お願いします。
必須以外の部分は、おわかりになる範囲で結構です。



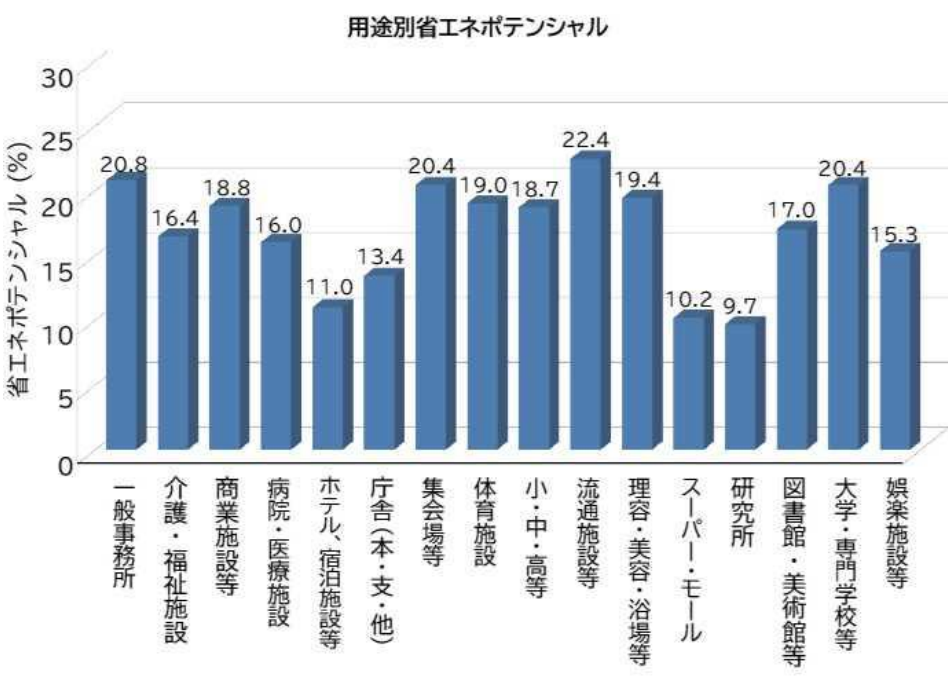
省エネ診断における省エネポテンシャル

➤ 過去の診断実績では、工場では7～19%程度、業務用施設では10～22%の省エネポテンシャルを提案しています。

工場の場合



業務用施設の場合



省エネポテンシャルとは、
診断先エネルギー使用量に
対する提案省エネ量の比率

(出所) 2020～2024年度省エネ診断

「省エネ・脱炭素化」を更に「深掘り」したい場合は

- 省エネ・脱炭素化を更に深掘りするには、データに基づいた詳細分析が有効です。
データを活用することで、機器単体だけでなく**エネルギー使用系統全体での最適化**が図られたり、**生産工程の効率化**が図られたり、これまで見えなかったエネルギーのムダが抽出されます。
- 省エネセンターでは、このようなニーズへの支援として「**ステップアップ診断**」を提供しています。



省エネ改善を実施する上で、
データ計測を実施したい。

データを活用して、
生産工程の省エネがしたい。

ステップアップ診断の事例は、
別セミナーでご案内しています
是非ご参考ください!

ステップアップ診断のメリットとは？

その1

- ・省エネに有効であれば「診断テーマ」を自由に設定できます

その2

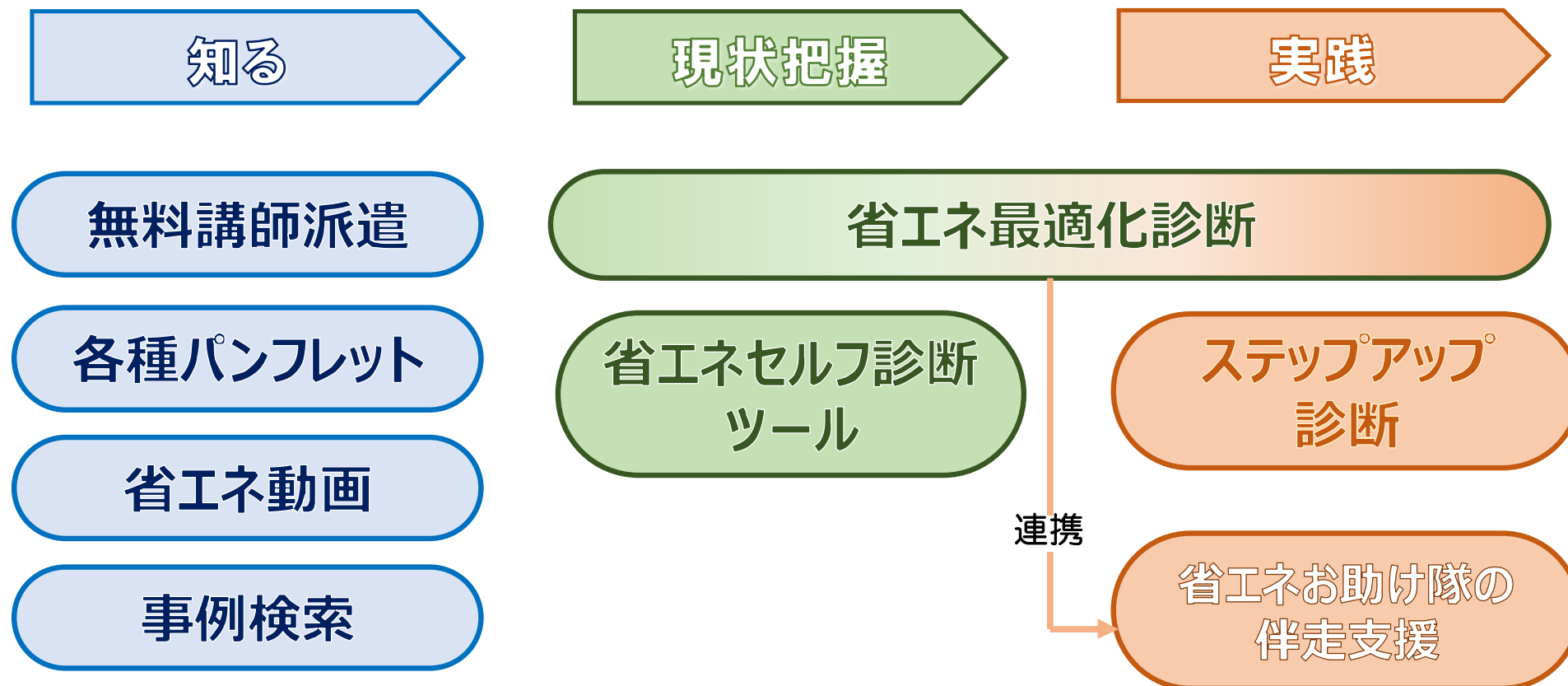
- ・診断先がお持ちのデータがあれば、それを活用しての分析が可能
- ・データが無ければ、**省エネセンターが無料でデータ計測を実施**

その3

- ・データを活用することで、生産工程と連携した省エネ、エネルギー使用系統全体の最適化等が期待できます。

「知る」「現状把握」「実践」各ステージごとの支援策

➤ 省エネセンターでは、省エネ推進のステージごとに、様々な支援策をご用意しています。



※執行団体：一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）

「無料講師派遣」について

➤ 省エネをテーマに含むセミナー等に「無料」で講師を派遣します。以下のような場合にお勧めです。

- ・省エネ、脱炭素化の進め方について知りたい
- ・カーボンニュートラルへ向けて勉強会を実施したい

【無料講師派遣をご利用いただける条件とは】

以下の条件を満たす場合に無料講師派遣をご利用いただけます。

- ・地方自治体等の公的機関等、または業界団体・民間組合等複数の企業が加盟する団体等が主催
- ・参加者として複数の企業・組織等から出席があること、かつ出席者から費用を徴収しないこと
- ・説明会の出席予定人数は原則として10名以上とします。

➤ 「事業者様向け」と「一般向け」の2つのコースがあります。

事業者向け

【開催例】

- ・自治体、業界団体、協会・組合等が主催する
設備管理者向け説明会
- ・総会、定期会合、展示会、セミナー等での講演会

【主な講演内容】

エネルギー消費の現状／カーボンニュートラルの状況／
省エネの進め方／省エネ最適化診断の紹介／
代表的な省エネ技術の紹介／診断事例の紹介 等

一般向け

【開催例】

- ・自治体や地域商店会、民間団体等が主催する
家庭向けの説明会
- ・学校、教育機関等が主催する子供向けの授業や説明会

【主な講演内容】

地球環境と日本のエネルギー状況／ご家庭での省エネ／
家電製品の使い方・選び方／SDGsとは 等

「省エネニーズ」に対応した各種パンフレットの発刊

➤ 利用者の様々な省エネニーズに対応した各種パンフレットを発刊予定です。

名称	対象	内 容	発刊予定
「省エネ」で経営で課題解決	経営者向け	・経営課題を入口に、省エネが課題解決にいかに関与できるかを、事例、省エネの進め方・ポイント、CNの進め方等を解説。	10月 目途
省エネ事例集	一般向け	・省エネ診断の好事例や省エネ大賞受賞事例を具体的に紹介。様々な業種の事例をバランスよく紹介。	10月 目途
省エネガイドブック (ビル版、工場版)	設備管理者向け	・省エネの具体的実践方法について解説。また、省エネ診断の実データに基づき各種省エネデータを掲載。	8月目途



＜経営者向け省エネパンフレット＞

Copyright(C) The Energy Conservation Center, Japan 2026



＜省エネ事例集＞



＜省エネガイドブック＞

「省エネセルフ診断ツール」で現状把握

➤ 省エネセンターでは、ご自身の省エネ状況を見える化するツールとして「省エネセルフ診断ツール」を無料で提供しています。

【省エネセルフ診断ツールで出来る事】

- ・どの位の省エネ余地があるか。どんな改善策があるか。
- ・現状のCO2排出量。再エネ導入や燃料転換を実施した場合のCO2削減量シミュレーション
- ・同業他社と比較して、省エネは進んでいるのか否か

年間エネルギー使用量 CO2排出量



削減ポテンシャル

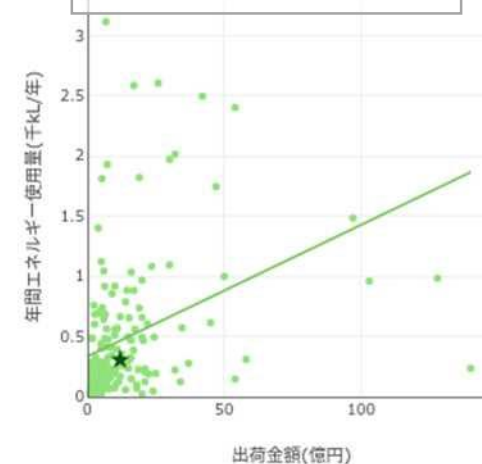
下記の削減メニュー（省エネルギー対策）を実施することで、貴事業所では、原油換算 14.6 kL、CO2換算で 26.7 t-CO2/年、金額で 1,079,181 円/年削減できる可能性があります。簡単にできるところから少しずつ省エネを進めていきましょう。

削減メニュー

■ 貴事業所と同等レベルのエネルギー使用量の事業所に実際に提案した省エネ提案

- ・ 室外機・室内機のフィン・フィルタの掃除、保守等により、周囲の通風確保と性能を回復させましょう
- ・ 季節や夜間休日に応じて、生産設備の不要な機器の停止、運転台数及び運転時間、期間の最適化、台数制御等の実施及び待機電力の削減を行きましょう。
- ・ インバータ機等の高効率・高性能なコンプレッサへの更新、低負荷時対応の専用小型機の導入をしましょう
- ・ 高効率更新・導入、タスクアンビエント化採用しましょう
- ・ 容量等の最適化を行い、高効率変圧器への更新を行きましょう。力率改善装置（自動力率改善装置）を導入しましょう。
- ・ 高効率更新・導入、タスクアンビエント化採用しましょう
- ・ 外気導入量は季節等に応じて低減又は停止しましょう。カーテン・ブラインド等により日射遮蔽しましょう
- ・ 炉体の外壁、煙道ダクト、配管、熱交換器等の保温・断熱対策及び炉開口部のリーク対策を行きましょう

同業他社比較



- まずは、「省エネ・節電ポータルサイト」にアクセスします。
- トップ画面の上部にある「省エネセルフツール」をクリック



ご視聴いただき有難うございました



一般財団法人**省エネルギーセンター**

